

会 報

日本福音ルーテル東京池袋教会

〒171-0014 豊島区池袋3-7-1

☎3984-3853

<http://www.jelc-ikebukuro.org/>

2016-3

発行日 2016年9月25日

絵本と信仰

「かみさま すてきな おくりものを ありがとう」



かみさまからの おくりもの

ひぐち みちこ



牧師・ 青田 勇

この絵本は、1984年に「こぐま社」から出版された『かみさまからのおくりもの』という本です。赤ちゃんが生まれる、それは神様からの贈り物である。一人ひとりのお母さんに神様が天使を通して、それぞれに違う赤ちゃんを与えてくれる……という簡単な内容のことばでつづられています。

「あかちゃんが うまれるとき かみさまは ひとりひとりの あかちゃんにおくりものをくださいます。」「かみさまからの おくりものは てんしが はこんでくるのです。」

「ほっぺの あかい あかちゃんには このおくりものが いい。とどけて おくれ」

「はいかしこまりました」「てんしが はこんできた おくりものは よく わらう でした。」

「あかちゃんは よく わらう あかるい こどもに なりました。」

このように絵本の中では、5人の赤ちゃんが描かれています。それぞれに違う贈り

物が天使よりお母さんに与えられます。

「ほっぺのあかい赤ちゃん」には「よくわらう」、「大きい赤ちゃん」には、「ちからもち」、「泣いている赤ちゃん」には、「うたがすき」、「よくうごく赤ちゃん」にはも「よくたべる」、「すやすや寝ている赤ちゃん」には、「やさしい」。

それぞれの赤ちゃんにすばらしい賜物が神から与えられています。親の望みや希望でなく、その赤ちゃんそのものにそれなりの素晴らしい賜物が神から一方的な恵みとして与えられています。

そして、この絵本は、母親、親への神の贈り物は何であるかを教える絵本でもあります。

その子供の「笑い」、「涙」、「歌声」、「寝顔」、「動き」すべてが親への神からの一方的な贈り物なのです。

けれども、人間いうものは欲望が深いもので、息をして生きていてくれればうれしいという感覚は次第に薄れていき、『早く歩いてほしい』『じょうずに色々、話してほしい』『工作とか、絵がうまくなってほしい』とか、神からの贈り物に期待をさらに強く抱いてしまいます。

そして、それだけでは満足しないで、『成績優秀になってほしい』『何かに優れて、人よりもスポーツがうまくなってほしい』といった欲望がとめどもなく高まってしまうのです。

この絵本が伝えること少しつながる物語が旧約聖書にあります。それはサムエル記上2章1節以下の「ハンナの祈り」と言われるところです。ハンナという女性は子供が授かるように、悩み嘆き、激しく泣きながら神殿で祈ります。

その祈っている時に、こともあろうに祭司エリは、彼女が酒によっているのではないかと誤解するのです。だれも、そこまで落ちたハンナの悩みと苦しみは理解できないのです。ですから、誤解が生れても当然と言えば当然です。祭司エリも理解できないのです。夫エルカナもそうです。では、この悩みと嘆きをハンナは誰にぶつけたのでしょうか。これが最も大事なことです。ハンナにとって、残されている相手は、神のみです。神に彼女は誰にも言えない悩みと嘆きを吐き出したのです。誰にも理解されない苦しみの中からの心からの願いを神に吐き出したのです。神にすべてを委ねたのです。苦しい自分そのものをすべて神の前に差出したのです。もう他には、なんの手助けもないハンナ、その彼女を神は心に留め、顧みてくださるのです。神こそがだれよりも、彼女の悩みと苦しみを知っていたのです。

そして、念願のサムエルが神の恵みの贈り物としてハンナに与えられた時に、彼女はサムエル記上2章1節で「**主にあってわたしの心は喜び、主にあってわたしは角を高く上げる。私は敵に対して口を大きく開き、御救いを喜び祝う。聖なる方は主のみ。**」と高らかに喜びの気持ちを歌っています。さらに、その賛美は10節までである長い歌となっています。

この聖書の状況からすると、サムエルが生まれた時にハンナはこのような歌を歌ったように書かれていますが、実は、これはサムエルの誕生の時だけ歌われたのではなく、サムエルが乳離れするまでの期間の間、ちょうど子守り歌のように、毎晩、またはサムエルを寝かせる時にハンナは繰返し、サムエルの傍らで歌い続けたのだと思います。

サムエルのために、その成長を見守りながら、ハンナは「**主の慈しみに生きる者の足を主は守られる**」という言葉のように、この歌を自ら心の底で密かに口ずさみ、そして、サムエルが大きくなって、もう子守唄は必要なくなっても、それは彼女の祈りとなり、この歌は彼女の心の中で口ずさみ、繰返して、祈りと共に神への感謝の歌であり、この祈りの歌を通して、神からの贈り物である息子サムエルの成長のすべてを母ハンナは神の業に委ねていったのです。

教会の主な集会・行事予定

- ◆ 9月18日(日) 敬老の日を覚えて礼拝、礼拝後、軽食・祝会 婦人会(お休み)
- ◆ 9月20日(火)午後2時 婦人の聖書会 ルカ22章14節~23節
- ◆ 9月22日(木)午前9時半「一日神学校」ルーテル学院 パイプオルガン特別奏楽
- ◆ 教会バザー 準備会

手作り作業（午前 10 時 or 午後 1 時）

カルリヤパイ 9月22日

鮭パイ 29日

リンゴケーキ 10月 6日

キャベツスープ 15日

- ◆ 10月9日(日)礼拝後、定例役員会 手話の会
- ◆ 10月12日(水)午後2時 聖書に学ぶ 第二テモテ4章6節以下
- ◆ 10月16日(日)礼拝後、教会バザー
- ◆ 10月18日(火)午後2時 婦人の聖書会 ルカ22章24節～30節
- ◆ 10月26日(水)午後7時 聖書を読む会
- ◆ 10月30日(日) 宗教改革主日礼拝
- ◆ 11月2日(水)午後2時 聖書に学ぶ 第二テモテ4章9節以下
- ◆ 11月5日(日)午後3時 墓前礼拝(多磨霊園)
- ◆ 11月13日(日)礼拝・子供祝福式
礼拝後、婦人会 聖書研究 ローマ書2章12節から16節
- ◆ 11月15日(火)午後2時 婦人の聖書会 ルカ22章31節～34節
- ◆ 11月20日(日)礼拝後、教会大掃除 「教会バザー」感謝会
- ◆ 11月30日(水)午後7時 聖書を読む会
- ◆ 12月4日(日)礼拝後、ミニバザー
- ◆ 12月13日(火)午後2時 婦人のクリスマス会
- ◆ 12月14日(水)午後2時 聖書に学ぶ 第二テモテ4章19節以下
- ◆ 12月18日(日)礼拝後、教会のクリスマス祝会
- ◆ 12月24日(土)午後7時 クリスマスイブ礼拝